

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を  
下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	安藤 正志
2. 研究課題名	原発不明癌に対する免疫組織学的検査を用いた化学療法の効果に関する後方視的研究
3. 研究の概要	<p>「原発不明癌」とは、組織学的に転移性悪性腫瘍と証明されている腫瘍で、かつ治療開始前の検査(腫瘍組織の生検、徹底的な病歴聴取および身体診察、採血検査、尿検査やX線検査、PET検査など)の期間において原発巣が同定できない腫瘍のことである。原発不明癌は生物学的に非常に多様性に富む疾患概念であり、治療に反応性を示す集団と治療に反応性の乏しい集団とに分けられる。しかしながら、治療反応性が乏しいグループであっても免疫染色を用いたprofilingを用い、可能な限り原発巣を同定し、その原発巣に準じた治療を行うことで良好な成績が得られることが、最近になり、報告されるようになってきた。そこで、当院で原発不明癌と診断された中で、治療反応不良群と分類され、かつ化学療法を受けた患者を対象とし、予後について検討する。</p> <p>免疫組織学的検査により、その原発巣に準じた標準治療を行ったグループと、免疫組織学的な検査を行っても原発臓器が特定できず、従来からのプラチナ製剤+タキサンによる治療を行ったグループに分けて後方視的に予後、化学療法の効果について検討する。</p>
	研究期間:2015年12月15日～2020年12月31日 (遺伝子解析:②行わない)
4. 使用する診療情報	診療情報内容( 診療録 )
	対象収集期間 2010年1月～2015年12月15日
5. 使用する検体	検体名( )
	検体採取時期 平成 年 月 日～平成 年 月 日
6. 病名	原発不明癌

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター管理課 会計グループ

主事 北野 孝拓

住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX：(052-764-2963)

e-mail:koutaku\_kitano@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)